

6月議会は6月10日から17日に開かれ、一般会計補正予算案など10の議案を審議・決定しました。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金(第1次分8080万円余り)の残り約1180万円の予算化、小中学校の授業に使う個人用のパソコンの購入費及びネットワークをつくるための費用などを決定しました。

また、新型コロナウイルスに感染して仕事ができなかった場合の傷病手当金制度を追加するために、**国民健康保険条例**を改正しました。まつき豊年議員は、全議案に賛成しました。

一般質問

4月28日過ぎて生まれた赤ちゃんにも



新型コロナの10万円の特別定額給付金は4月27日に住民票台帳に登録された人が対象。

4月28日以降に生まれた赤ちゃんには支給されません。(※↗)

同じように

10万円を支給して

(※↘)町の独自の支援策で支給すべきと一般質問でとりあげましたが、「趣旨は理解するが、実施はムリ」(町長)との答弁で終わりました。

まつき豊年は、6月議会をふまえて、2つの提案をします

提案 ①

4月28日以降に生まれた赤ちゃんに町独自の給付金10万円を支給します。

昨年度に生まれた赤ちゃんは約70人です。

年間で700万円あれば、支給は可能です。

国の交付金の第2次分は約2億5000万円が見込まれていますので、その一部を活用します。(右の内訳を参照ください)

4月28日以降に生まれた赤ちゃんに支援策をすすめる自治体は県内でも、全国でも増えています。

提案 ②

来年度は、10万円の出産祝い金制度をつくり、子育て支援策としてすすめます。

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金内訳

第1次分

約8080万円

第2次分

約2億5000万円



国民健康保険料

子どもの

均等割分の軽減を

国保に加入する18才未満の子どもは、ひとり平均3万5300円の均等割分の保険料を支払っています。子どもさんが多ければ多だけ保険料の負担も増えるため、子どもの均等割負担の軽減策を求めて質問しました。

多気町独自の軽減条例をつくれば、軽減は可能と答弁。しかし、他の市町との歩調を合わせることも必要として軽減条例をつくることには消極的な姿勢でした。全国では子どもの均等割を軽減するとりくみが広がっています。引き続き軽減条例づくりをめざします。

た き みんぼう
多気民報

再刊13号【2020年7・8月】

日本共産党多気支部の見解をお知らせします
編集発行責任者 中野新吉 ☎39-3541

商売の売
上が半分
に減った

困ったら悩まず 相談を!

働きたいが
病気がちで
働けない

新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活全体に深刻な影響を広がっています。困った時はひとりで悩まないで相談しましょう。

さまざまな社会保障の制度を積極的に活用して、安定した生活をとりもどすことができます。

生活保護

働いているかどうかにかかわらず、生活に困ったとき国民のだれもが憲法25条にもとづいて権利として生活の保障を請求できる制度です。

国も新型コロナウイルス感染症が深刻な被害を広げていることから、困った時に生活保護の制度が活用できるように通知も出しています。

また、安倍首相も「生活保護は権利、申請はためらわないで」と明言しました。

(6/15 参院決算委員会、共産党田村智子副委員長への答弁、写真右)

多気町は健康福祉課に福祉事務所がありますので、ここで申請ができます。



質問する田村副委員長

国保料の減免

国の特別措置で、「新型コロナ」で収入が3割減った場合に保険料が減免されます。積極的に申請しましょう。窓口は町民環境課です。(収入が1000万円を超える場合は対象とはなりません。)

後期高齢者保険料、介護保険料も同じように減免されます。

国民年金保険料 免除・猶予

保険料を払えないでそのままにしておくと、将来の年金などに不具合が生じることがあります。

申請の手続きをすることで保険料の免除、納付猶予されます。

ほっとなニュース

被爆者のみなさんがつくった原爆の実相を伝える新しいパネル「原爆と人間」(写真、下)を多気町が昨年購入してくれました。昨年の6月議会の一般質問でとりあげて実現したものです。今年も、下記のように展示会が予定されています。お気軽にどうぞ。

《展示会の日程》

- 8月3～7日
町民文化会館展示室
主催:多気町
- 8月8～15日
勢和図書館企画展示室
主催:多気町9条の会



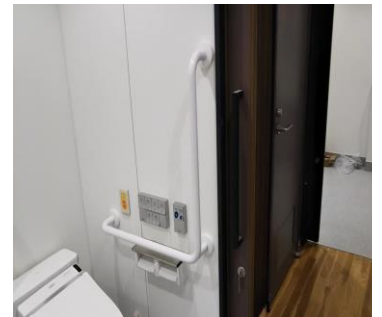
多気中学校 新校舎完成

エアコンの効いた教室でと、予定を繰り上げて7月13日から新校舎での授業が始まりました。

議員を対象に完成前の6月、新校舎の見学が行われました。オシャレな外観

地元のヒノキ材のウッディな内装。

議員への説明会で提案した男女誰でも使える「誰でもトイレ」(写真、右)が実現しました。



医療・福祉・労働相談、生活保護・国保料 減免などの申請の相談もお気軽にどうぞ

日本共産党 多気町議会議員 **まつき豊年**
☎67-4953 090-8959-8301 〒519-2216 古江 403



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん **赤旗**

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円